

## 高齢者支援、子育て支援等

特定非営利活動法人 輝かすみが丘（荒木 香壽美）

### 活動の概要

私たちNPO法人輝かすみが丘では、高齢者の方々の生活向上の支援、史跡や景勝地などの文化的施設の環境整備、子どもの健全育成などの事業を行い、誰もが住みよいまちづくりに寄与することをめざしています。

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごしていけるよう高齢者への日常生活の支援サービスや情報誌の発行等を行っています。試行錯誤を重ねながら生き甲斐対応型サービスも順調に伸び、入会したいとお年寄りの希望者も多いが、場所の広さ等で残念であるがお断りしている。

また、子育て支援と文化施設の環境整備を兼ねた行事として、地元の史跡の五色塚古墳上の環境整備、海峡大橋を眺めながら明石海峡の音頭を踊ろうと地域の幼稚園、小学校、保育所、中学、高校生、老人会、ふれあいのまちづくりの皆さんの協力も得て、600名の参加。この事業は昨年で3度目であるが、平成12年には兵庫県より助成金を受けた（ふれあいの祭典「県民提案事業」に採択された）。

### 活動状況

家事支援、外出介助、声かけ配食見守り

老健施設への童謡の出前、施設の入所の方々とともに月2回童謡を一緒に歌い、リクエストにも応え、お誕生日の方の名前を聞き、ハッピーバースディを全員合唱。60人ほどのお年寄りがその日がくるのを待っておられる

生きがい対応型サービスでは、ハンドベル、絵手紙、かんたん気功、輪投げ、グランドゴルフ、のんびりウォーキング、パソコン、健康相談

子供の料理教室、小学校の家庭科室をお借りして、約40人の児童達と簡単なお菓子作りや料理等も隔月毎に実現、小学生と交流

児童館、垂水区13の児童館にお願いし、折り鶴のモザイク画を作っていただき、1館約3千羽の折り鶴で見事なモザイク画が完成。児童館まつりで区役所のロビーに13のモザイク画が飾られて見事なものであった。

### 活動を進めていく上での課題

毎週土曜日に実現している生きがい型サービス、とても好評で、入会して楽しんでいるお年寄りがお友達を誘ったり、場所も霞ヶ丘幼稚園のきれいな冷暖両用で申し分なく、霞ヶ丘幼稚園の快いご協力には頭の下がる思い、入会を希望されても、お断りしている現状である。

### 活動して良かった点

老老介護の現在、余り年齢の変わらぬ者がお世話をしているが、思わぬ若い方がお世話係になってくださってとても喜んでい。積極的な協力で末頼もしく思う。

サービスも霞ヶ丘幼稚園という恵まれた環境で大変なご協力をいただき、クリスマス等も園児とともに、ミュージックベルを楽しみ、園児の器楽や可愛い色々な発表も見せていただき、園児に負けじとお年寄りや世話係とともにハンドベルを楽しませていただいている。お年寄りの顔も輝いて見える。

### 今後の計画

今まで述べたように試行錯誤しながら力一杯の活動を続けている。大きな事はできなくとも、地に足をつけ、年齢以上の活動で、これ以上を願うのは無理ではないかと思っている。

## 魅力と活力あるまちの再生

### グッドラックボランティア（井上タイ子）

#### 活動の概要

地域を魅力と活力あるまちに再生するため、地域の背景や現況を知って、まちづくりに環境を考え、人が健康で安全に住むことができるように、地域の自律と人とのつながりづくり・個を大切にす取り組みを行う。

#### 活動状況

##### <孤立という社会問題に取り組む>

仮設住宅に最後まで残ってしまった方に、ご自身でライフスタイルを決めて、ご自身で行政の方に意志を伝えることができるようにする支援(神戸市、西宮市、明石市) - 現在でも関わった方を支援

##### <生活するまちの魅力をみんなで高めるために>

地域での美化種かを通じて、新たなコミュニケーションを創成する。神戸では須磨の事件などいろいろなことが起きたので、個人の感受性を育てるために公園や道路のそばの雑草の根元などに花を植えたり、掃除をしたりしている。このような作業の過程で、地域の方が花壇の周りに集まるようになり、世代を超えたコミュニケーションが生まれ、孤立しがちな若いお母さんの子育て支援や青少年の話し相手となっている。

##### <地域の歴史や文化、環境を知り、地域の文化を共に発掘し育てる>

緑のマップづくりに関わっていただき、地域を一緒に歩くことにより、環境を知り、遊木地を利用して花や緑を植え、まちの魅力を高める工夫を図る。さらに、歴史や文化を知る。

##### <地域と学校の連携を図る>

地域の中学生と高校生を受け入れ、一緒に花の植え替えや美化種かをし、「花と緑の交流会」で地域の人々と交流する。

##### <六甲山のクリーン作戦>

オープンカレッジ(姫路工業大学、甲南大学)で環境づくりについて学び、修了者で作ったグループ「エコフレンズ」で六甲山の清掃種かを行う。(8月24日)

##### <花と緑によるまちづくり - JR灘駅(山側)・阪急王子公園駅 阪神岩屋駅 王子南公園周辺>

震災復興祭りのステージのひまわり180本を提供。1月17日の震災記念行事には、花を植え、清掃をして、参加者を迎えている。

##### <生涯学習を地域づくりにつなぐ>

ちがう地域や世代の仲間との交流を行い、神戸の歴史や文化・経済を学び、地域づくりに生かす。(神戸まちづくり学校)オープンカレッジや神戸市のまちづくり学校で学んだことを生かし、さらにプランナー養成講座で川崎市の現状を調べ、「緑が少なく、30分もいると目か赤くなったり、喉か乾かたり、手がべとべとしたり、空気が大変汚れていることや水か汚か魚の姿が見えないこと、さらに社会や経済構造の変化による遊木地の発生が、まちの活力の低下につながっていること」を知った。そこで、「森づくりによるまちづくり」を提案し、市・県・国に策定していただく。

##### <地域のコミュニティの活性化に取り組む>

地域の人々か集り、喜びと感か共有できる「楽しいまち」をめざし、地域の目標を「ちょっと気配り参加の日(第3火曜日)灘区民一斉クリーン作戦」と「灘区の花・菜の花」というふうか策定していただく。

##### <活動支援の仕組みづくり>

パンダな場 パンダストリート(上下)... 灘路花博の時か協働  
行政か管理している地域の花壇や木を、手伝って一緒に育てる。

#### 活動を進めていく上での課題

参加と協働においては公平性を保つことが大切だが、ボランティア団体か中心となるといづれ偏ってしまうので、行政かいて初めて公平性が守られる。

地域夢会議「楽校ネットワークをつくらう - この指とまれ会議のように、司会者をおき、行政と提案者が一緒に並んで会議を進めていくことは、三者か同時に聞く耳を持つことができ、市民とのつながりが深まる。(市民の声を聞く姿か目に見えてよかった。また、いろいろな地域の方か会話かでき、困っていること、提案したいことを話すことができた。)

#### 活動して良かった点

王子動物園にパンダか来たので、地域内外からたくさんの人か来園して欲しく、さらに「神戸に来てよかった」と気持ちよく帰っていただきたいので、地域の市民か花を植え、掃除等の活動を行うこととなるが、担い手かないので、指導者・コーディネーターとなって活動者を盛り上げ、世話系に負担かかからないよう仲介・情報伝達を行い、4年間支援し、継続できるようにする。

##### 地域内の情報を共有しあう拠点づくり

ボランティアセンターにおいて月1回行ってはいたが、介護保険制度導入により多忙となり、2~3ヶ月に1回となったため、中間支援組織を作り、社会福祉協議会かきちんと市民か選ぶことができる介護保険制度に取り組めるよう連携できるよよう提案する。

#### 今後の計画

##### <環境を考えたまちづくり>

リサイクルの回収を図り、そこから得たお金で地域の花植えなど住民のつながりを持つ。

・駐車場代や街灯代の安全費に当てる。

・生ゴミをポスト化し、堆肥づくりをし、有機野菜づくり。それを給食や宅配、朝市や店頭で販売する仕組みを作り、ISO14000を進め、ISO14001へと、地産地消を流通革命を図り実施。(エコビジネス)

観光農園をつくり、農家の仕事を手伝うことができ、また土産としての楽しみを見つける。

「まちなみ助成(緑を植える)」があることや「いえなみ賞」があることをPRし、景観づくりに協力してもらう。

## 育児支援ポータルサイトの構築

株式会社 チャイルドハート（木田 聖子）

### 活動の概要

#### 育児支援事業

### 活動状況

核家族、少子化による「子育てに自信のないチャイルドマザーの増加等」「虐待」といった社会背景を踏まえ、それらの育児支援のための子育てポータルサイト「のじゅーるたうん」の開発と運用。（URL <http://www.noduletown.com>）

### 活動を進めていく上での課題

特に育児相談事業については、行政や地域の人たちと一体になって進めていくことが、これからの一番重要な課題。

### 活動して良かった点

たくさんの方たちと知り合えた。

また、行政の方にも、現在行っている事業を少しずつ理解してもらえたこと。

### 今後の計画

官民一体となった育児支援活動の推進。

## 訪問介護、家事支援、子育て支援

特定非営利活動法人 神戸ライフケア協会（日下 知久）

### 活動の概要

- 1 高齢者・障害者、子供のいる家庭へのボランティアによる家事等の援助サービス
- 2 介護保険事業  
居宅サービス事業者(訪問介護)、指定居宅介護支援事業者(ケアプラン)
- 3 子育て支援事業  
子育てNETすくすく(子育てサロン)、神戸市内(東灘、西、長田区)4ヶ所で実施中

### 活動状況

当協会は“ともに生きるくらしをめざして”を理念とし、広く市民の自主的・自発的運動として活動意欲のある人たちの集まりであって、少子・高齢化社会の中でお互いに助け合い、平和で安心して暮らせる社会・コミュニティ形成を目指しています。

平成12年4月1日より開始された介護保険も順調に推移してまいりました。

また、平成12年12月から開始したボランティア活動による「子育てNETすくすく支援事業」については、どの地域においても地域に根付き、参加者も増加している。さらに東灘区においては、地域のまちづくり協議会との協働にて新たに福池地域福祉センターにおいて月3回の子育てサロンが開始されております。また、在宅支援活動においては、従来の「すくすくケア」産前・産後並びに父子家庭における在宅ケアを更に発展させ、児童の虐待への対応・子育て中の母親の支援活動、在宅における子供の見守り等を当協会の20周年記念事業とし「子育て支援事業」とした。「子育て中のお父さん・お母さんにとって、何が必要か？」を視野にいれながら中味も充実させて活動します。

更に、今年度の新規事業として「障害者支援費制度」に参入する(3月申請予定)当協会は在宅介護のパイオニアとして今後も活動を続けていく上で、もはや避けては通れない、今後十分技術を身につけ更に幅を広げていきたい。

## コミュニティサロン「祇園の里」開店

平野婦人会（小島 巴）

### 活動の概要

平野市場の活性化を願い、空き店舗を利用しコミュニティサロンを運営して、高齢者の方たちのおしゃべりの場所、また買物にいられてちょっと休んでいただける場所があれば、、、少しでも住みよい平野のまちを願って開店しました。

### 活動状況

朝10時に開店し、午後4時には閉店します。（家庭の主婦ですの）

日曜日は市場も休業ですので休み、週6日開店します。

家庭で眠っている図書を収集、自由に持ち帰り読んでいただく、また、ギャラリー、おしゃべりコーナー、手づくり手芸品の販売、手芸講習、100円喫茶もなかなかの盛況です。

高齢者の配食サービスの拠点場所でもあります。

## 地域花いっぱい運動

人・つなぐ旧西国街道まちづくりを考える会（門田 則秋）

### 活動の概要

旧吾妻小学校校区を中心に、西国街道あづままちかど広場を発信基地として、緑の運動をしています。また、まちづくり運動をしています。

### 活動状況

西国街道あづままちかど広場の維持管理(清掃および花木の水やり)をしながら、年3回、市民花壇として植え替えや土壌改良等を地域の諸団体(吾妻ふれあいのまちづくり協議会、12ヶ団体自治会)の協力の基でやっています。また、それぞれの団体の地域での花木運動を共にやっています。

生田川の山麓バイパス(トンネル)工事への連絡等を行い、地域のみなさまに実情報告をしています。トンネルの上に公園ができます。公園管理等にも参加し、私たちのまちを花で飾り、道行く人たちになごんでいただくべく運動をしています(テーマは「地域花いっぱい運動」を展開しております)。

秋に行われる旧葺合地区の継承事業「秋華祭」の手伝いをしています。春には生田川でのさくら祭りにも参加しています。

### 活動を進めていく上での課題

- 老若男女を問わず良きパートナーの増員。
- 特に高齢者の健康管理のためのイベントの開催。
- 他の団体等との連携プレー。

### 活動して良かった点

- 地域住民のみなさまに喜んでいただいたこと。
- お互いにあせみずした喜びを分かち合えたこと。
- ひとりでは知りえないことを知ったこと。

### 今後の計画

秋華祭を大きくして、中央区の一大イベントにしたい。

J R高架南側を花木で美しくし、バスに乗って来られる方が安らぐような地域づくりを、特に生田川から春日野道間を重点的に進めたい。

## 生きがい型対応サービスほか

特定非営利活動法人 輝わだみさき（小西 宏子）

### 活動の概要

主な活動は、生きがい対応型サービス、通院介助等の福祉活動です。

また、NPO法人設立の目的のひとつに挙げた語り部の記録-わだみさきの子供たち-についても、地域に住み続けている高齢者の貴重な記録として残しつつあります。

### 活動状況

生きがい対応型サービスは、活動そのものが、地域にとって必要であり、また、要請の大きいことと実感しています。

毎週火曜日に開いていますが、活動は、昼食会のほか、地域にある保育所とおとしよりの交流、地下鉄海岸線和田岬駅構内にあるギャラリーでのグループの作品展示並びに輝グループのお知らせなどに取り組んでいます。

### 活動を進めていく上での課題

地域の福祉活動の幅をさらに広げていくこと

### 活動して良かった点

- ・ サービスに参加する人が増えてきたこと
- ・ 地域にあるいろいろな組織からNPOの活動や存在の意義が認識されつつあること

### 今後の計画

今のペースでじっくりと活動の根をおろしていきたい。

ウイングスタジアムグラウンドオープンを控え、その幅は広がっていくことが考えられます。

## 地域の中の音楽会

本山中央婦人会（山本 孝子）

### 活動の概要

地域で文化活動として少し高度な音楽会との願いを込めて、今年度は5回実施した。

### 活動状況

地域での高齢者、障害者、子供たちに本物の音楽を聞く機会をと14年度は5回開催した。

音響効果も悪く、設備も不備な点が多いなか、音響板やマイク、スピーカー、ミキサー等を購入し、少しでも良質な音楽をと、委員達が一生懸命に設営にも従事した。

毎回、120名以上の観客が来館し、地域での音楽会が喜ばれた事に我々も満足した。

### 活動を進めていく上での課題

毎回無料で茶菓子接待し、予算的にも非常に苦しい状況である。15年度は助成が無い場合は有料とする方向も検討しなければならない。しかし、折角、福祉センターの意義と地域での音楽会が根つき広まりかけた現在、中止するのは非常に残念なので何とか継続して行きたいと思う。

### 活動して良かった点

多くの地域住民が次回を楽しみにし、初めて音楽会らしき会に参加できたことが嬉しいと、私たちに何度も感謝の意を表された。

### 今後の計画

今年度も大学のOBのグリークラブ等に働きかけ、地域での音楽会を継続して行きたいと思う。

## 地域活動の場づくり

KWF アラカルト (久保 幸子)

### 活動の概要

「テーマ」 学校・家庭・地域のトライアングルネット (生涯学習活動)

そもそも「学び」は、学校・家庭・地域という社会に存在しながら、それぞれは異質性を持ち、独特の働きとして常に相互作用を持っている。

「学び」という場づくりの必要性を考えてきたわけだが、学校の教育現場を社会の学習活動に地域社会がネットワークした地域力を育てるような「トライアングルネット」の必要性をあげ、「ネットワーキング」の原点としている。

### 活動状況

地域活動の「場づくり」の具体性

福祉施設のボランティアコーディネイトをはじめ、行事企画などが活動となっている。

### 活動を進めていく上での課題

学校(児童)との接点の難しさ = コンタクト

・・・トライやるウィークなどの行事や高校、専門学生などの連携をとるには

### 活動して良かった点

ネットワークされることは、人間のコミュニケーションが基にあり、「場」が提供されることで活動が広がっていく。その広がりが、地域力となっていくことがはっきりと見えてきたこと

### 今後の計画

学校、地域、そして家庭をトライアングルとする、そしてコミュニケーション・チャンネルをうまくコーディネイトし、コミュニケーター(仮称)の養成を行う。

### その他

学校側の開放に向けても色々と事例研究をしたり、研究発表を重ねて提案につなげたいと思う。

## ボランティアコーディネート

Vo・信愛 (ボランティアしんあい) (菅野 喜一)

### 活動の概要

ボランティアコーディネート

福祉相談

障害者支援

子育て支援 etc

### 活動状況

- ・ 高齢者、商店街、自治会、被災者等との電話相談
- ・ 商店街活性化、自治会催事の手伝いや「1.17雪の十勝岳山ろく野菜村からの雪プレゼント」のコーディネート 等 年間146件

### 活動を進めていく上での課題

仕事をしているので、仕事に影響のあることはお断りして活動

### 活動して良かった点

必要としてくださるので活動

依頼があってはじめて動くスタイルなので良かった点など考えたことはありません

### 今後の計画

- ・ 商店街を楽しくしたい。
- ・ 児童館などインド紙芝居の人と回りたい (スポンサー探し)
- ・ “生きる” シリーズで講演会を考えている (スポンサー探し)

## 高齢者の福祉活動支援

高倉台ふれあいのまちづくり協議会（柴田 重彦）

### 活動の概要

高齢者の福祉活動に対する支援

団地に入居が始まって30年、40歳で入居すると70歳、50歳で入居すると80歳、と非常に高齢化が進むが、如何に地域において高齢者が安全で安心して暮らせるようにまちづくりを行うかを取り上げて、地域内の各種団体と一丸になって取り組んでいます。

### 活動状況

高倉台ふれあいのまちづくり協議会とNPOが協力して、

)高齢者で一人暮らしの方に昼食サービス(月4～5回)

)デイサービス(月4～5回)

)高齢者に対する夕食の宅配サービス(月4～5回)

)高齢者のコミュニケーション作りのふれあい喫茶(月2～3回)

以上のほか、高齢者および一人暮らしの高齢者に対する支援活動を実施している。

### 活動を進めていく上での課題

世話をする方が年々高齢化していきますので、後継者作りが大変になっています。

### 活動して良かった点

高齢者の方々が高倉台団地に住んで良かった、と言うのを聞いたとき、また近隣センター(高齢者施設)で高齢者からお礼の言葉を言われたとき。

### 今後の計画

後継者の育成と種々の勉強会、隣接する団地との交流を通じたの情報収集等。

## 校区における地球温暖化防止活動

兵庫県地球温暖化防止推進委員（高倉台グループ）（柴田 重彦）

### 活動の概要

地球温暖化防止活動に対する種々の資料提供

地球がどんどんと温暖化に向かいつつある中で、温暖化防止推進委員と協力委員（2名、NPO輝たかくら台）と協力しながら、広報活動を中心に防止活動を展開しています。

### 活動状況

温暖化防止活動にエコタウン世話人会、NPO等が年4～5回、広報誌を発行し、防止活動に対して地域住民に協力の呼びかけを行っている。

リサイクル活動も活発に行っている。NPO、婦人会、エコタウン世話人会、単子ども会が収集する資源は年間700t以上。緑化活動も活発に行っています。

### 活動を進めていく上での課題

活発な活動をすればするほど資金的に苦しい面があります。

### 活動して良かった点

年々ごみの搬出量が少なくなっている風景を見るとき。

### 今後の計画

行政および各種団体が実施する講演会、講習会などに積極的に参加して、勉強、情報の収集。

## 「楽しいまち・神戸」地域の課題解決へ

特定非営利活動法人 輝すてっぷ・筑紫が丘婦人会（田代 千賀子）

### 活動の概要

福祉活動の推進及び子育て支援をし、高齢者や障害者など誰もが安心して住むことができるコミュニティづくり、地域づくりに励んでいます。

社会福祉教育としても福祉資格取得者への人材育成にも力を注いでいます。また、自然との共生を考え、子供たち、若者たちと一緒に、環境を考え、公園・道路を清掃することによって、資源循環型社会(落ち葉コンポスト等)を目指しています。

### 活動状況

#### 1 宅配サービス

高齢者一人暮らしの方の安否確認を兼ね、看病疲れの家族への支援

#### 2 あんしんクラブ

・家事支援、介護サービス(ホームヘルパー2級取得者派遣)

・移送サービス

病院への通院、リハビリへの通院、養護学校の生徒さんの送迎等

#### 3 子育て支援

専業主婦の子育てストレス解消の場の提供。

親子参加で、登録制でなくどなたでも参加

#### 4 社会福祉教育

人材養成のために講座開講

#### 5 生きがい対応型ディサービス

閉じこもりの方を無くすため、毎週1日を楽しく過ごしていただいている

(区役所の保健部との連携をとりながら)

### 活動を進めていく上での課題

地域での活動も様々で、色々な考え方があり、地域の大きさ、環境等の違いからくる手法の相違もありました。それをお互いに理解し合い、それぞれの地域、又これからの活動に取り入れて、地域実現ができるかが課題

### 活動して良かった点

- ・ 会議にはあまり参加できなかったが、情報は収集してきた。
- ・ 地域での新しい取り組みの一つとしての資源循環型社会を前進させ、子供たち、地域へ提案できたこと

### 今後の計画

地域のビジョンとして、私たちは「夢の街・笑園」がテーマで誰もが集える憩いの場、若い母親も参加、子供たちの往来があり、みんなが楽しめて高齢者の方の「生活支援ホーム」を創ること。

住み慣れた街での家庭サービス、地域とふれあいもあり、地域の医師との医療サービス、行政との情報交換を大切に、少しずつ実現に向けています。

## 「パーク・コミュニティ・タウン」づくり

藤原台婦人会、特定非営利活動法人 輝ナビ北神（玉木 貴代子）

### 活動の概要

私たちの街、藤原台は、大小あわせて21もの公園に恵まれ、その公園の多くが遊歩道でつながるといって、緑豊かな街である。しかし、その環境も夏には樹木が成長しすぎ、草ぼうぼうの荒れた姿に変わってしまう。その公園を何とかすることはできないだろうかと考え、行政にもパートナーとして、技術やノウハウを提供していただきつつ、地域の諸団体と連携して、パーク・コミュニティ・タウンをめざし活動を始めたところである。

パーク・コミュニティ・タウンとは、地域の人々が、公園を地域コミュニティにとっての中心的施設としてとらえ、様々な公園の使い方を通じて、人づくりを進めながら人々の交流を深める。そして良好なコミュニティを形成しながら、住民主体で美しく住みやすいまちづくりに取り組む地域をいう。

そんな地域をめざし、準備会を発足させた。

### 活動状況

平成14年度10月・1月、公園清掃ボランティア募集。希望者数名のみ

並行して、地域の各団体の集まりであるふれあいのまちづくり協議会において、方法論を検討。

ふれまちを母体として、パーク・コミュニティ・タウン準備会の結成をめざすことにする。

地域福祉センターに「地域ボランティアセンター」の看板を掲げ拠点とする。

さしあたり15年度は、北・中・南町において、きっかけづくりとして、大きく3回のイベントをし、基本的な考え方、方法などを広めていく。

第1回 藤原山樹公園にて、さくら祭り 4/6(日)開催予定

第2回 栗の木谷公園にて

第3回 柳谷公園にて

### 活動を進めていく上での課題

一番の問題は、誰がもしくはどの団体が中心となって、この活動を進めていくのかというところが、決まっていないことである。ふれまちはあくまでも準備会設立までのつなぎ的役目。今後はこの部分が一番問題になってくるであろうと思われる。

### 活動して良かった点

まだ、活動らしい活動はできていないが、もしうまくいけば、公園を核にして地域住民の交流の場、ふれあいの場...ができ、活力ある地域コミュニティの形成ができていると思っている。

### 今後の計画

15年度	きっかけづくり	3回の大公園でのイベント
16年度	なかまづくり	潜在的ボランティアの発掘、参加しやすいメニューづくり、既設ボランティア相互の連携、交流会の実施等
17年度	しくみづくり	パーク・コミュニティ・タウン準備会の立ち上げ 年間プログラムの作成、予算の作成
18年度	ばづくり	プレーパークや里山活動の実施 クリーン作戦や美緑化キャンペーンの展開による除草や清掃、安心安全のための剪定作業や遊具・設備の整備、花壇づくりやオープンガーデンの開催

### その他

現時点で計画できているのは、15年度実施の3回のイベントのみである。とくに今後の計画については、私案である。このようにすれば、5年後ぐらいには、そここの公園で、それぞれ特徴のある活動が繰り広げられ、公園が地域のお荷物ではなく、「地域の交流の場」の拠点になれるのではないかと考えてみた。今後地域においては、このように提案していこうと思っている。考える機会を与えてくださってありがとうございます。

## 高齢者支援、ふれあい など

特定非営利活動法人 輝わかな（松谷 美佐子）

### 活動の概要

平成13年7月より生きがい対応型デイサービス開始

（場所…中央小学校、毎週火曜日10:00～14:30）

ひまわりサンデーモーニング喫茶

（場所…若菜地域福祉センター、毎週日曜日 8:00～10:30）

エコタウンまちづくりの取り組み

### 活動状況

引きこもりがちな高齢者を対象とするデイサービスでは、小学校の授業の一環として、昔の遊びを教えたり、昔の生活の様子を話すなど、児童と世代を超えた交流を行います。表千家のお茶を体験、バス旅行。ミュージックベルでは全員で年1回の発表会に出演します。軽い体操、ゲーム、歌、手芸講習、時事問題（1週間の出来事）を話し合うなど、終わりのティータイムまで、和気あいあいと楽しいひと時を過ごし、みなさん次回を楽しみに解散します。

ひまわりサンデーモーニングは、ふれあいの場づくりとして、毎週日曜日にトースト、ゆで卵、サラダにコーヒー（または紅茶）をお出しし、話が弾みます。

エコタウンまちづくりの取り組みは、廃品や空き缶の回収、広報チラシの配布、エコチェックなど地球温暖化防止に一役買っています。

平成14年9月30日まで上大安亭商店街の空き店舗にコミュニティサロンひまわりを開店。リサイクル商品や駄菓子の販売で、子育て支援をするなど、市場商店街の活性化に一役買い、頑張りました。

### 活動を進めていく上での課題

拠点となる場所、ミーティングが手軽にできる場所がほしい。

提出書類の簡素化

### 活動して良かった点

高齢者と児童が世代を超えて交流することができた。

引きこもりがちな高齢者が児童との交流に参加することによって生きがいを感じてくださるようになった。

環境問題に対する意識が浸透しつつある。

ひまわりサンデーモーニング喫茶でお友達が増えた、と喜んでくれた。

### 今後の計画

この5月より、災害復興公営住宅高齢者元気アップ活動支援事業に取り組もうとしています。

また、商店街の空き店舗に出店を再度予定しています。

## ふれあい

神の谷婦人会（田中 ひとみ）

### 活動の概要

毎月第2木曜の午後に「さくら喫茶」として、地域の皆さんにコーヒー・紅茶と手作りケーキで語らいの場を続けてきています。月1回を皆さん楽しみに待っていてくださり、地域のいこいの場として根づきつつあります。

また、地域の方を対象に活動している「家事サポート」も3年になります。年齢を問わず、地域の方ならどなたでもご利用できるよう老人会さんと一緒に活動しています。

仕事内容は、あらゴミ、生ゴミの運搬、団地の掃除代行、庭の水まき、草取りなど家事のお手伝いです。

### 活動状況

神の谷地域も高齢化になりつつありますので、「家事サポート」はこれから益々利用者が増えそうです。しかし、問題点もあります。お手伝いに行く者の登録者が、現在は会員に限っているため、時間的に無理な人が多く、サポートに行く方の人数が少ないことです。

今後は、ふれあいのまちづくり協議会とも連携を取りながら、地域の方にもお手伝いいただくような活動に広げていきたいと思っています。

## コミュニティ

クローバーの会 友が丘作業所を支える会（割鞘 昭子）

### 活動の概要

障害者も健常者も共に支えあって生きる社会をめざして、知的障害者の自立訓練の場である友が丘作業所で、それぞれの得意分野と時間に合わせて支援活動を行う。

- ・「さをり織り」の縫製、新聞ワーク、昼食作り、展示会、バザーの手伝い、作業所周辺の緑化
- ・絵、音楽、お茶の作法などの指導
- ・ハンドベル演奏での地域の交流の場、高齢者とのふれあいの場、青少年との交流の場をつくる。

### 活動状況

毎月、会員に作業日程が記載された「おたより」が作業所から届きます。個々決めた作業内容により、自主的に作業所に行き、作業の手伝いをする。

- ・「さをり織り」縫製：ポーチ、袋物、マフラーなど 月3回
- ・新聞ワーク：委託された作業、袋づめなど 月1回
- ・昼食作り：担当者と通所者と2人で食事づくり 毎日
- ・展示会、バザー：「さをり織り」製品、パウンドケーキの販売 年間10回
- ・絵、音楽、お茶の作法：会員の指導者が行う 毎月1回

### 活動を進めていく上での課題

会員も高齢化してきました。そのため活動する人数が少なくなり、同じ人に負担が掛かります。若い方や他のグループの方に呼びかけ、参加型支援活動を考えている。

### 活動して良かった点

作業所に行くたびに、彼女たちの素直さ、明るさ、人に対する心づかいや思いやりを教えられ、そして、「さをり織り」を織る姿を見て、こつこつ努力する根気強さ、エネルギーをもらって帰って来ます。展示会、バザーに参加、手伝いすることにより、保護者の方との交流が増え、彼女たちの家庭の様子も聞くことができました。

### 今後の計画

昨年7月から生活して行くための基本ルールを学び、生活して行くなかで、自分の役割を知ることなど、宿泊訓練がスタートしましたが、親なき後の自立を考える時、1日も早く地域にグループホームができることです。地域の理解と作業所と私たちの努力が必要であると考えています。

## ボランティア活動、自治会活動

ナルク神戸、庄山1・2丁目自治会（松枝 謙介）

### 活動の概要

震災後少子高齢化社会に対応するため、ニッポンアクティブライフ（通称ナルク）の神戸支部として設立。現在NPOになり、ナルク神戸として、神戸市内及び明石の会員で主に50歳以上の夫婦単位で加入し、約250人の会員で活動しています。基本的には自立のための研修、会員相互の助け合い、及びボランティアで様々な活動をしています。

自治会では、特に高齢化が著しく活動する人が減っていますが、今年は敬老会、親睦旅行（特に初めての試みとして、車椅子の人の参加も実行し、感謝され、今後このことの拡大を図りたいと思います。）

民生委員などや有志と協力し、住みやすい地域社会にと、防犯（年末警戒）や子供たちの七夕祭りなどを実行しています。

### 活動状況

ナルク神戸

#### 自立のため

研修会・講演会などを毎月行っています。加うるに忘年会・新年会など料理教室を行い、その料理でパーティを行っています。その時役員における運営委員会を行います。

#### 助け合い

会員相互に必要な要望があれば、助け合い1時間1点として記録しております。

#### 奉仕

楽楽大学や無償ボランティア活動 加うるにいろんなアンケート、ゴルフ（有志）会員の楽しみなどの活動や、今後子育て支援などニーズのあることに対し、検討し、各々会員に生きがいを求めるよう活動しています。

### 活動を進めていく上での課題

#### 財政的基盤の確立

せめて交通費などの実費ができれば運営がスムーズになると思う。

参加者が高齢で、動きが十分でなくなりつつある。

若い人の参加が少ない。

### 活動して良かった点

会社人時代になかった人とのふれあいができた。

### 今後の計画

リーダーや責任者ではなく、後方支援というか陰で活動を支えるようにし、新しいリーダーができるようなシステムを考えたい。

## 健康体操教室

特定非営利活動法人 輝むろうち（横田 陽子）

### 活動の概要

私達の住む地域は、阪神・淡路大震災により大きな被害を受け、その後復興は進んだものの、震災後新しく住まわれた人たちと震災以前より住まわれている人たちとの交流がうまく図れていなかった。また地域にある災害復興公営住宅の高齢者の引きこもりも問題となっていた。

そこで、引きこもりがちな災害復興公営住宅に居住する高齢者の健康維持を図るため健康体操教室を開催し、そこへ地域の人たちにも参加を呼びかけ、震災以前より住んでいる人たちと、震災後新しく住まわれた人たちとの交流が図れるような場所にもなればよいと思った。

平成 14 年度の災害復興公営住宅高齢者元気アツプ支援事業に応募し採用された。

### 活動状況

「健康体操教室」

実施日 毎週月曜日(月 4 回) 実施場所 市営住宅 8 号棟集会所

時間 午前 10 時 50 分～12 時 参加者 20 名/回

準備体操の後、音楽にあわせてリズム体操をして全身の筋肉を使う。

また、最近流行りの演歌にあわせての「演歌ピクス」などは、高齢者の人たちにもなじみやすく大変楽しそうに踊っています。

整理運動として、マットの上に寝て、ゆっくりとした音楽を聴きながらストレッチ体操で身体の隅々まで伸ばし心身ともにリラックスします。

実施してから丁度 1 年が経過しますが、参加者も定着しつつあり毎週月曜日を楽しみにしている人も増えてきました。

### 活動を進めていく上での課題

- ・毎週 1 回の活動で参加者には定着してきており、健康維持にも役立っているが、スタッフの負担が少し重いように思われる。担当のスタッフの人数を増やし負担を軽減したいところだが、なかなか新しい人材が見付からない。
- ・今年度は支援金で事業費を賄えたが、今のところ支援金のメドもなく、講師料と会場費を参加費の徴収で賄うようになると思うが、参加者の減少が心配。
- ・復興住宅の集会所はエアコン付きで、住民の集会に使う分には十分な広さだと思うが、色々な活動に使うには、少し狭いように思われる。今後住宅の集会所を作るときは、もう少し広い面積の集会所にしてもらえば、いろいろな活動に利用しやすく地域の人たちと住宅の人たちとの交流も進むと思う。

### 活動して良かった点

- ・復興住宅の高齢者と、地域の人たちとの交流に役立った。
- ・高齢者の生活にハリができて、生きがいづくりに役立った。
- ・体操を続けたことにより、痛かった膝の関節が良くなったとか、体力がついてきて日常生活が過ごしやすくなった、という参加者の声が聞かれたこと。
- ・今まで閉鎖されていた復興住宅の集会所を使ったことにより、復興住宅に活気が出た。

### 今後の計画

せっかく定着しつつある事業なので、今後も続けて活動したい。

実施内容も 14 年度と同じようにする。

チラシや掲示板など、又参加者やスタッフの口コミなどを通じて参加者の募集をする。

## スポーツクラブの設立 等

( 蓮沼 良造 )

### 活動の概要

#### ユニバーススポーツクラブの設立

神戸市総合運動場の補助競技場（第3種公認）の夜間活用のため、住民・スポーツ団体関係者と協力して、スポーツクラブを設立（2002年10月）。毎週火曜・金曜の午後5時から午後9時まで、市民を対象にした陸上（ランニング、ジョギング、ウォーキング）の練習場として運用しています。

#### クリニックでのウォーキングクラブの設立

三宮にある内科クリニックに通院する患者を対象としたウォーキングを月1回実施しています（2002年10月から）。健康のためのウォーキングであることの趣旨を徹底し、継続して参加することを目標とした、誰でも参加できる易しいコースを設定しています。

### 活動状況

スポーツクラブとは、スポーツの好きな者がそれぞれの生活の中で気軽にスポーツを楽しむための組織です。民間のスポーツクラブのようなスポーツ教室中心ではなく、好きな時間に競技場にきて走り、歩き、帰宅する、このような形が励行されています。

医者は患者に「健康のために歩け」と奨励するが、多くの患者はどこをどのような準備で、どのように歩いたらよいのかわからず、歩きたいという願望を持ってはいるものの、実践に移せないでいる。このグループのミッションは、常にはじめてウォーキングに参加した人々のためのグループを維持し、歩くことで仲間作りを果たすことである。

### 活動を進めていく上での課題

スポーツ愛好者へのPRの方法

### 活動して良かった点

見知らぬ人同士の交流の輪が広がっている。

### 今後の計画

陸上のほかの種目の設立を目指している。

患者のファミリーを誘い込む。